サスティナブルコスメアワード 2021 説明会資料

「賞賛と応援でコスメをやさしく」

トピック

①サスティナブルコスメアワード2021趣旨説明

②サスティナブルコスメアワード2021審査について

③エントリーシートの書き方・申し込みの流れ

サスティナブルコスメアワード
2021
趣旨説明

サスティナブルコスメアワードとは

環境省の森里川海アンバサダーでもあるアクティビストチームMOTHER EARTHが主催する「人にも地球にもやさしいコスメ」を表彰するアワードです。

(公財)日本環境協会エコマーク事務局の協力の下で策定されたSDGs視点をベースとした評価基準をもとに、成分をはじめ原料生産・製造・販売・流通・消費・廃棄といったあらゆるプロセスを含めた製品のライフサイクル全体を通じて評価・審査・表彰することで、コスメの世界のサステナビリティを推進していきます。

主催：MOTHER ERATH
事務局：一般社団法人 the Organic
協力：株式会社ロフト / rooms / イセタンサローネ
後援：NPO法人日本ホリスティックビューティ協会

環境省　中井徳太郎事務次官からの応援メッセージ

地球温暖化抑制のために、日本はカーボンニュートラルの実現に向けて進み始めています。

脱炭素社会・循環経済・分散型社会を実現し、
地球を健康な状態に戻すためにも、
コスメというライフスタイルに深く根ざした産業が
持続可能なものになっていくことはとても重要です。

本アワードのますますの発展を心から祈念しています。

つなげよう、支えよう 森里川海

サスティナブルコスメアワードが目指すもの

サスティナブルコスメアワードは2030 年に終了します。
なぜなら2030年には
「人にも、地球にもやさしいコスメ」が
当たり前の時代になっていると、信じているからです。

暮らし方で地球環境は変えられます。

未来は、目指すものであり
私たち自身が創るもの。

志を持った作り手たちを称えることで、
持続可能な社会への共感を一人でも多くの人に
伝えていきたいと考えています。

個性豊かなサステイナブルコスメたちに出会えることを
関係者一同心より楽しみにしております。

サスティナブルコスメアワード
2021
審査について

審査基準

サスティナブルコスメアワードの審査は、
一次審査で提出されたエントリーシートの審査から始まります。

例えば、原料の調達において
「フェアトレードで調達している」
「耕作放棄地を耕して、自社栽培をしている」
「地域の方を雇用している」
「オーガニックの原料を使っている」
など、
製造から廃棄までの流れのなかで、私たちが掲げる
「人にも地球にもやさしいコスメ」であることが、審査の基準となります。

各賞

サスティナブルコスメアワード2021では、これまでの3賞、審査員賞のほか、新たにインターナショナル賞・ダイバーシティ賞・カーボンニュートラル賞・地方創生賞・企業賞を設ける予定です。

・ゴールド賞
・シルバー賞
・ブロンズ賞

・審査員賞

・インターナショナル賞
・ダイバーシティ賞
・カーボンニュートラル賞
・地方創生賞
・企業賞

NEW

※応募可能製品は、日本標準商品分類における分類番号「88 1 化粧品」に属する商品（「88 11 香水及びオーデコロン」から「88 19 その他の化粧品」まで）を目安とします。商品の製造・販売・輸入取扱等を行う方（個人、法人は問いません）が応募できます。日本国内で購入可能な製品に限ります。

審査員紹介

審査員長

岸 紅子（Beniko Kishi）

NPO法人日本ホリスティックビューティ協会　代表理事 / 環境省アンバサダー

自身や家族の闘病経験をもとに、2006年にNPO法人日本ホリスティックビューティ協会(HBA)を設立。多数の美容・健康・医療関係者とともに女性の心と体のセルフケアの普及につとめ、資格検定や人材育成を行う。環境アクティビストとしても、ライフスタイルを通じた、人にも地球にも優しいSDGsアクションを多く提言している。発酵食スペシャリスト、味噌ソムリエ、パーマカルチャーデザイナーの一面も持つ

事務局長

小原 壮太郎（Sotaro Obara）

一般社団法人the Organic代表理事
全国有機農業推進協議会理事
環境省「持続可能な成長エンジン研究会」委員
MOTHER EARTH事務局長

10年間の広告会社勤務を経て、アントニオ猪木氏のプロレス団体IGFの代表取締役副社長就任を契機に、様々な企業経営を経験。2008年の猪木氏北朝鮮来訪同行を契機に農業問題改善に目覚め、2013年、四角大輔氏と共にオーガニックの普及啓発推進活動「the Organic」を立ち上げ、生産者や企業・地域へのコンサルティングに取り組みはじめる。

審査員紹介

新井 ミホ（Miho Arai）

ラキャルプ代表 / ビューティーディレクター

大学卒業後、IT関連企業の広報や化粧品会社ＰＲを経験した後、独立。

オーガニック化粧品を中心としたフリーランスPRを経て、2012年にナチュラル＆オーガニックライフ専門のPR会社 株式会社ラキャルプを設立。オーガニックコスメ＆フード、マクロビオティック、薬膳、フレグランスブランドのブランディングやPRコンサルティング業務に携わる。

吉川 千明（Chiaki Yoshikawa）

美容家・オーガニックスペシャリスト / 株式会社TUTU 代表取締役 / 公益社団法人 日本アロマ環境協会理事 / 一般財団法人 日本女性財団理事 NPO法人 日本ホリスティックビューティ協会名誉顧問

「科学的にナチュラルに」をモットーにコスメのみならず、食、女性医療、漢方、植物療法、ファッション、旅とナチュラルでヘルシーな女性のライフスタイルを提案。1990年代より、日本における数々のナチュラル・オーガニックコスメブランドのブランディングやコンサルティング、イベント、PR等に関わる。オーガニックコスメと植物美容を日本に広げたナチュラルビューティの第一人者。

山田メユミ(Meyumi Yamada)

(株)アイスタイル取締役 共同創業者

東京理科大学基礎工学部卒。化粧品メーカー商品開発部在職中、個人で始めたメルマガへの反響をもとにコスメ情報サイト『@ｃｏｓｍｅ』を企画立案。サイト立ち上げを牽引し、1999年（株）アイスタイルを共同創業。現在も同社取締役を務めるほか、他上場企業の社外取締役も兼任している。女性の多様な活躍の在り方を支援する活動が評価され『Forbes JAPAN WOMEN AWARD 2017』において個人部門「グランプリ」を受賞。

Photo by KENTA YOSHIZAWA

坂口 真生(Mao Sakaguchi)
エシカル・ディレクター

高校でアメリカへ渡り、大学卒業後ニューヨークにて音楽業界に携り、自社音楽レーベルを設立する。
日本へ帰国しアッシュ・ペー・フランスにプレスとして入社。セレクトショップ、アート事業、Eコマースの立上げに参画。
2012年日本最大のファッション・デザイン合同展示会「rooms」で日本初となるエシカルをテーマとしたエリアを立上げる。
2017年エシカル事業部を設立、ディレクターに就任。
銀座三越、ルミネ、東急百貨店、阪急百貨店など商業施設にて エシカルキャンペーンを企画プロデュース。
SDGsやサステナブルの関心の高まりから、幅広い企業にエシカル/サステイナブルのビジネスコンサルティングを行なっている。
2021年、エシカルコンビニを始動。
日本エシカル推進協議会アドバイザー。
FMラジオ J-WAVE ナビゲーター。

審査員紹介

藤野 純一（Junichi Fujino）

地球環境戦略研究機関(IGES) 上席研究員

中学生のころ「石油はあと30年でなくなる」と知り、地球の有限性（サステナビリティ）に興味を持つ。2007年頃、2050年低炭素社会シナリオをつくり、「サツキとめいの家」「ドラえもんの社会」と命名。ローカルな活動に興味をもち始めた頃、東日本大震災と原子力事故が発生。飯舘村の復興計画に、また東京2020大会の持続可能性計画に関わる。今は、『みんなの「ふくしまSDGs」ネットワーク』の立ち上げに奔走。

渡辺 綱男（Tsuneo Watanabe）

国際自然保護連合日本委員会（IUCN-J）会長

1956 年東京生まれ。1978 年に環境庁に自然系職員（レンジャー）として入庁、全国の国立公園や野生生物の保護管理にあたる。シマフクロウ、トキ、ヤマネコなどの保護回復の取り組み、釧路湿原の自然再生や知床の世界遺産登録、生物多様性国家戦略や生物多様性条約COP10 の開催、三陸復興国立公園づくりなどに携わる。2011年より自然環境局長を務め、2012 年に環境省を退官。現在は自然環境研究センターや国連大学に勤務。2016年より国際自然保護連合日本委員会（IUCN-J）会長。

櫻井 啓裕（Yoshihiro Sakurai）

株式会社INFASパブリケーションズ 取締役

2008年INFASパブリケーション入社後、WWD Beautyにてオーガニック＆ナチュラルコスメの企画やイベントプロデュースを多数手掛け黎明期のオーガニック&ナチュラルコスメ業界にどっぷり浸かる。WWDのデジタルディレクターなど経て2019年から取締役ビジネスプラニング部長、2020年にはカルチャー誌TOKIONを復活させ、株式会社TOKIONを設立し取締役パブリッシングディレクターを兼務している。

鈴木 款（Makoto Suzuki）

ジャーナリスト/フジテレビ解説委員

1985年早稲田大学卒。農林中央金庫を経て1992年フジテレビに入社。政治部、NY 支局長、経済部長を経て現職。著書に「小泉進次郎 日本の未来をつくる言葉」、「日本のパラリンピックを創った男 中村裕」、「日経電子版の読みかた」など。情報経営イノベーション専門職大学客員教授。映倫の年少者映画審議会委員。はこだて観光大使。2017年サハラ砂漠マラソン250キロ走破。2020年早稲田大学院スポーツ科学研究科卒。

審査員紹介

関 龍彦（Tatsuhiko Seki）

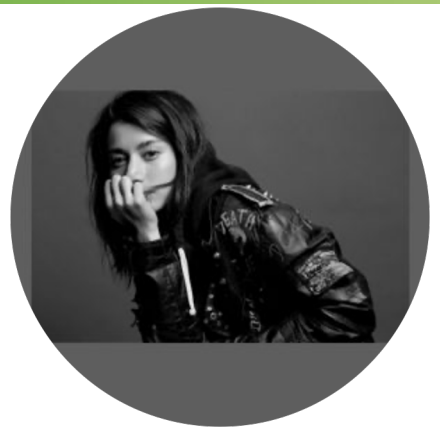
講談社 FRaU 編集長・プロデューサー

’87年講談社入社。『ViVi』『FRaU』の編集者を経て、’97年日本初のビューティ専門誌『VOCE』創刊のため新雑誌準備室へ。’04年より6年間同誌編集長。‘10年より4年間『FRaU』編集長。’18年より現職。’18年12月女性誌としては世界初の“一冊丸ごとSDGs特集”となるFRaU 1月号を刊行し、話題に。

大葉 ナナコ（Nanako Ooba）

BIRTH&EARTH代表 / 環境省アンバサダー

自身の初産時から女性の身体能力やセルフケアに関心を持ち、出産準備教育を学ぶ。自尊感情を高めるいのちの教育プログラム「誕生学」が行政・学校・PTA・育児支援企業等に好評を博し、年間1,000〜1,200校で授業を提供している。少子化対策と女性活躍推進の両立支援事業、官公省庁の委員や次世代育成のための官民各種プロジェクトにも参画している。欧州で芸術や出版プロデューサーの活動展開中。



マリエ（Marie）

エシカルファッションデザイナー / 環境省アンバサダー

2011年のアメリカ・ニューヨークのパーソンズ美術大学へのファッション専攻留学を契機に、2017年6月、自身がデザイナーを務めるブランド「PASCAL MARIE DESMARAIS（パスカルマリエデマレ）」を設立。 デザインは基本的に「ジェンダーレス」。ファッションの観点から環境問題にも積極的に取り組み、工場や職人など生産者の声に耳を傾けるため全国を飛び回っている。 J－WAVEにて2016年より『SEASONS』（毎週土曜12:00-15:00）にてナビゲーターを務めており、20〜50代まで様々な層にメッセージを発信している。

MINMI

シンガーソングライター / 環境省アンバサダー

幼少期からピアノを弾き始め、すべての楽曲を作詞から作曲にいたるまでを自身の手で紡ぎ出してきた、大阪出身のシンガーソングライター。音楽活動だけに留まらず、常に進化するエイジレスな魅力は“ファッション”や“ソーシャル”といった面でも常に注目を浴びており、ブログをはじめInstagram・twitter・Facebook等のSNSにおけるフォロワーは累計40万人を超える。社会貢献活動にも積極的で、新時代を切りひらくママとして、ファッションリーダーとして、ソーシャルアクティビストとして、10代から40代までの女性から圧倒的な支持を得ている。「森里川海プロジェクト」と「MOTHER EARTH」の活動に共感し、ギフトソング『MOTHER EARTH』を制作。

審査員紹介

事務局

田島 尚子（Naoko Tajima）

元saita・ヨガジャーナル日本版編集長

大学卒業後、主婦の友社を経て、セブン＆アイ出版に入社。生活情報関連のムック担当後、『saita』編集長として、ママのライフスタイル全般について雑誌・ネットで発信。その後、ヨガ専門誌『yoga JOURNAL日本版』の編集長に。現在、「がん患者向けのヨガ」（アンダーザライト主催）のオンラインレッスンの普及に関わる。

石川　柚葉（Yuzuha Ishikawa）
学生審査員兼事務局

東京外国語大学国際社会学部イタリア語科二年
神奈川県横浜市出身。横浜市立南高等学校を卒業後、東京外国語大学に進学。青年環境NGO Climate Youth Japanにて副代表を務め、政策提言やライフスタイル、エネルギーの観点から気候変動問題の解決に取り組む。昨年首相官邸にて2050年カーボンニュートラル達成に向けた全国フォーラムに参加。

鈴木　華（Hana Suzuki）
学生審査員兼事務局

上智大学文学部国文学科三年
埼玉県比企郡小川町出身。西武学園文理高等学校卒業後、上智大学文学部に進学。「小川町SDGsまち×ひとプロジェクト」運営委員や地方創生やフードロス問題に貢献する社会貢献型インターンシップにも参加。オンラインにて大学主催の「バンコク国際機関実地研修」などを経験。

申し込みの流れ

エントリーシートの書き方

エントリースケジュール

一次審査公募期間
2021年8月1日～10月8日
応募の際にはエントリーシートの提出が必要となります
■一次考査料： 20,000円/1アイテム

一次結果発表
2021年11月1日

サンプル送付期間
2021年11月1日～11月19日
一次選考を通過した製品の実物審査を行います。
この期間に商品のサンプルを送付していただきます。
■二次考査料　（実物審査）　：50,000円/1アイテム

結果発表（WEB）
2021年12月15日
アワード受賞製品をWEB上で公開します

授賞式
2022年1月下旬予定

＜第一次審査（書類審査）＞
別紙の選考基準に照らして採点を行い、総得点が高いものから
最大５０製品に絞り込み、ノミネート製品を決定します

＜第二次審査（実物審査）＞
ノミネート製品を対象に、審査員が実際に感触を確かめ、
デザイン、品質（成分、環境配慮）、企業理念、製品開発に込めた想いなどを総合的に評価して、
ブロンズ・シルバー・ゴールド賞他の表彰商品を決定します

受賞のメリット

1.銀座ロフト・rooms42・イセタンサローネ特設展示会場にてコスメのプロモーション

2.tarout氏デザインの受賞記念ロゴマークの使用

■受賞マーク使用料：１製品につき年額50,000円
使用条件を満たしていればあらゆる用途・媒体にて使用可能
※売り上げ規模1,000 万円以下の企業は
サスティナブルコスメスタートアップ支援価格4 万円

3. 提携するECサイト（COMMEARTH)で展開可能

SUSTAINABLE
COSMETIC
AWARD

エントリーシート提出までの流れ

①エントリーシートを公式ホームページよりダウンロードし、必要事項をご記入の上「サスティナブルコスメアワード」事務局宛てに電子メールにてご提出ください

*PDFファイルに変換して添付してください
*資料が多く容量が大きい（１Mを超える）場合は、ZIPファイルに圧縮してください。
*複数製品で応募する場合は、製品毎に応募資料一式（企業情報については）が必要です。
*ホームページ公開は7/8(木)を予定しております。

②エントリーシート受付後、一次審査料の請求書を発行させていただきますので期日（10/15（金） 12:00）までに一次審査エントリー費用２万円をお振込みください

*請求元は本アワードの事務局を務める　一般社団法人the Organic　となります。
*複数の商品、ブランドを応募くださった場合は合算した金額にて請求書を発行させていただきます。
*基本はメール添付（PDF）となりますが、原本の郵送をご希望の場合はお申し付けください。

一次審査の結果は事務局より、エントリー企業各社にご案内いたします。
一次審査を通過した製品はその後、二次選考会のための、サンプル送付依頼書を事務局からご案内いたします。

エントリーシート参考キーワード

会社としての取り組み
人権　出産　育児　介護　高齢者雇用　障がい者雇用　働き方改革
ワークライフバランス　ダイバーシティ　環境教育　ボランティア活動など

社会や地域との関わり
地方創生　雇用　寄付　環境教育　耕作放棄地利用など

原材料の調達
フェアトレード　オーガニック　生産農家との契約など

製造過程でのエネルギー対応
再生可能エネルギー　太陽光発電　自社発電システム　省エネなど

水資源、自然資源の保護
節水　循環利用　雨水利用　緑化・植林　環境保護活動など

CO_2対策
カーボンニュートラル　モーダルシフト　エコドライブなど

廃棄への取り組み
ノープラスチック　リターナブル容器　空き容器回収　包装の簡易化　生産量管理など

エントリーシート記入において、
参考としていただける取り組み例の一部
とキーワードです。エントリーシート記
入の参考にしてください。

エントリーシート参考資料

自社の活動がSDGs17項目のどれにあてはまるのかは、環境省
「すべての企業が持続的に発展するために～第２版」
21ページを参考にしてください。

https://www.env.go.jp/policy/sdgs/guides/SDGsguide-honpen_ver2.pdf

エントリーシート見本　①企業について

「2021 年度サスティナブルコスメアワード」
エントリーシート（企業編）

応募者

企業名	ﾌﾘｶﾞﾅ　サスコスカブシキガイシャ		
	サスコス株式会社 （英字表記：SUSCOS CO.Ltd　　）		
企業理念	世界の環境、健康に関する社会課題を「人にも地球にもやさしい」製品を通じて解決することを目指します		
事業内容	家庭用健康、美容関連製品の開発、販売		
販売形態	自社 EC サイト、EC 専門サイト、自社直営店、一部店舗		
製造販売の許可 (該当に☑)	☑「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する律」（以下、「医薬品医療機器等法」）にもとづく許可を受けている。 └ ☑ 化粧品製造業許可 ☑化粧品製造販売業許可 ☑上記の許可を受けた事業者等に製造・販売を委託している。		
企業 URL	http://www.suscos.co.jp		
応募担当者氏名	ﾌﾘｶﾞﾅ　ヤマダ　サキコ 山田サキコ		
部署・役職	コミュニケーション本部　本部長		
住所	〒107-0052 東京都港区赤坂○ - ○ - ○○		
電話	03−0000−0000	Email	sakiko@suscos.com

※上記情報は、受賞された際にプレスリリース、展示販売などの手配のため関係各位に共有する可能性があります。下記に☑がない場合、申請をお受けできません。
☑企業情報の共有に同意する。

応募製品数	1　個（5 個以上申請の場合は表の行を足してください）
製品名 1	サスティナブルマザークリーム

企業としての取り組み

①最初に、御社が取り組んでいる SDGｓの項目に丸を付けてください。

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
○	○	○	○	○		○	○				○	○		○		○

※ SDGs の目標およびターゲットなどは環境省「持続可能な開発目標（SDGs）活用ガイド」を参照してください。
http://www.env.go.jp/policy/sdgs/guides/SDGsguide-honpen_ver2.pdf

②持続可能な社会のために御社が実施されている取組みを具体的に記入してください。また、可能な限り裏付けになる資料を添付してください。
※ 取り組みが多い場合は、記入欄をコピーし、貼り付けて記入してください。

取り組みの内容（20 字程度） **1．【フェアトレードによって生産された原材料を調達】**
SDGｓの番号：1、2、12、17
フィリピンにおけるココナッツの生産農家のほとんどが家族経営を中心とした小規模経営のため、生産性が低く、仲介業者の搾取の対象となることが多いのが現状。そこで持続可能な生産の促進を目指し、こうした農家に知識および技能を取得できるようにするため、地元の農業組合を通じ、3000 軒の農家に対し Good Agricultural Practices(GAP)に関するトレーニングを実施。さらに、このなかから 800 軒の農家を選抜し、国際 NGO のトレーニングを提供し、レインフォレストアライアンス認証を取得できるよう、援助を始めた。結果、認証を取得した農家からココナッツを購入し、不安定だった経営を安定した状態にする一助になっている。トレーニングの機会が与えられたこと、認証を取得できたことにより、生産農家の姿勢も変わり、徐々にココナッツの質と量が向上している。 **添付資料名：** **※ホームページなどで公開している場合は、URL を記載してください。**

取り組みの内容（20 字程度） **2．【国内産の原料を地方の農家と契約】**
SDGｓの番号：15
ココナッツオイル以外は、すべて国内で調達している。仲介業者を頼らず、担当者が事前に調査し、全国の農家を回って、栽培に関しての契約を結んでいる。有機栽培を行ってきたが買い手がつかず、生産を断念しようとしていた農家などに依頼して、経済面でもフォローしている。また、耕作放棄地の土壌を改良し、自社農園として有機栽培を始める予定でもある。

エントリーシート見本　②製品について

「2021 年度サスティナブルコスメアワード」
エントリーシート（製品編）

エントリー製品に関しての概要

*当該ページ以降はエントリー製品毎に１セットずつ必要です。
必要な枚数コピーをしてご記入の上、ひとつのドキュメントとしてご提出ください。

１．基本情報

ブランド名	ﾌﾘｶﾞﾅ サスコスラボ
ブランド名英語表記	SUSCOS labo
ブランドコンセプト	すこやかな肌を保つものは、それ自体がすこやかな存在であるべきという考えから生まれたのがこのブランドです。「人にも地球にもやさしく」をテーマに、原料となる植物が育つ環境、製造過程、製品がお客様に届くまでの流通過程など、すべてにおいて地球にやさしいということを基本にしています。

製品が以下の化粧品の表示に関する法規等を遵守していることを確認のうえ、適合する事項に○を入れてください。

(○) 不当景品類及び不当表示防止法（昭和 37 年法律第 134 号）第 31 条第 1 項の規定に基づく「化粧品の表示に関する公正競争規約」

(○)化粧品の全成分表示（平成 13 年３月６日付医薬審発第 163 号/医薬監麻発第 220 号）

製品名	サスティナブルマザークリーム
製品名 英字表記	Sustainable mother cream
製品の種類	全身用クリーム
製品を表すキーワード (5 個)	・合成成分無添加、天然成分 100% ・主成分はフィリピンで有機栽培されたエキストラバージンココナッツオイルをフェアトレードで輸入したもの。 ・その他は国内で有機栽培されたハーブなど ・容器も生分解性プラスチックを採用 ・大人から赤ちゃんまで使える

1

製品の特徴 (200 字程度)	保湿作用、抗酸化作用が高いと言われるココナッツオイルのなかでも、特にその作用が高いと言われているエキストラバージンココナッツオイルを主成分としている。更に、有機栽培されたココナッツから、時間をかけて低温圧縮製法で抽出し、ココナッツオイルの持つ優れた成分がそのまま凝縮された状態で配合している。鎮静作用の高い天然ハーブ、その他の成分も有機栽培されたものを採用した天然 100%の肌にやさしいクリームである。
製品開発ストーリー	小さな子供を持つママでもあるスタッフ二人の、「できれば子供にも安心なものを使いたい」「家族で使えるといい」という会話から、保湿をテーマにした商品の開発がスタート。 天然 100%のクリームを作るには、主成分を何にするかという調査・研究の結果、ココナッツオイルに決定する。「安心なもの」という視点で見つけたのが、フィリピンで有機栽培されているエキストラバージンココナッツオイルである。 その他の成分は、国内の有機栽培農家さんを回り、こちらも「安心なもの」という視点で選択。 「肌にいい、肌にやさしいだけでなく、子供たちの未来のためにも、地球にやさしいものを」ということを基本に探した結果、農薬を使わず、土の力だけで育てられた植物は肌なじみもよく、香りも高く、研究機関で分析したところ、肌への有効成分も濃厚であるという結果も出た。
製品画像	製品の外観を示す画像(JPG)を添付して下さい。（複数枚可） 外装がある場合はその画像も添付してください。 受賞の際はプレスリリースやホームページなどに掲載する可能性がありますのでご了承ください。 製品画像ファイル名：
製品掲載ホームページ	http://suscos.co.jp

エントリーシートとエントリーシート見本は、ホームページよりダウンロードすることができます。

2

サスティナブルコスメアワード2021
説明会資料をご覧頂き、
誠にありがとうございました

皆様のご応募お待ちしております